

議案第6号

令和8年度旭市水道事業会計予算の議決について

令和8年度旭市水道事業会計予算を別冊のとおり調製したので、地方公営企業法第24条第2項の規定により、議会の議決を求める。

令和8年2月20日 提出

旭市長 米本 弥一郎

令和 8 年度

旭市水道事業会計予算書

## 令和8年度旭市水道事業会計予算

(総 則)

第1条 令和8年度旭市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給 水 件 数	21,865件
(2) 年 間 給 水 量	6,227,995m <sup>3</sup>
(3) 1 日 平 均 給 水 量	17,063m <sup>3</sup>
(4) 主 要 な 建 設 改 良 事 業	
旭配水場ポンプ施設更新工事	918,390千円
配水管布設替工事	344,180千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入	
第1款 水道事業収益	1,710,962千円
第1項 営業収益	1,411,474千円
第2項 営業外収益	299,488千円
支 出	
第1款 水道事業費用	1,474,511千円
第1項 営業費用	1,433,320千円
第2項 営業外費用	10,093千円
第3項 特別損失	1,098千円
第4項 予 備 費	30,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

( 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 1, 005, 900千円は、  
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 92, 162千円、減債積立金  
28, 847千円、過年度分損益勘定留保資金 884, 891千円で補填するものとする。)

		収 入	
第1款	資 本 的 収 入	444,301千円	
第1項	企 業 債	273,800千円	
第2項	出 資 金	81,300千円	
第3項	補 助 金	19,030千円	
第4項	負 担 金	44,228千円	
第5項	給 水 申 込 納 付 金	25,943千円	

		支 出	
第1款	資 本 的 支 出	1,450,201千円	
第1項	建 設 改 良 費	1,399,673千円	
第2項	企 業 債 償 還 金	28,847千円	
第3項	そ の 他 資 本 的 支 出	1,681千円	
第4項	予 備 費	20,000千円	

(継続費)

第5条 継続費の総額及び年割額は、次のとおりと定める。

(単位：千円)

款	項	事業名	総額	年度	年割額
1 資本的支出	1 建設改良費	旭・飯岡地域基幹管路耐震化事業	808,700	令和6年度	77,880
				令和7年度	116,820
				令和8年度	80,400
				令和9年度	120,600
				令和10年度	70,800
				令和11年度	106,200
				令和12年度	94,400
				令和13年度	141,600
		旭配水場ポンプ施設更新事業	4,060,980	令和8年度	918,390
				令和9年度	1,288,650
				令和10年度	1,264,340
				令和11年度	214,720
				令和12年度	374,880

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
建設改良事業	千円 273,800	普通貸借又は証券発行	6.0%以内(ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	借入先の融通条件による。ただし、企業財政その他の都合により繰上償還又は低利に借換えすることができる。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、80,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 第1項営業費用、第2項営業外費用、第3項特別損失との相互
- (2) 第1項建設改良費、第2項企業債償還金、第3項その他資本的支出との相互

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職員給与費 97,954千円
- (2) 交際費 33千円

(他会計からの補助金)

第10条 高料金対策のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、80,000千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第11条 たな卸資産の購入限度額は、2,358千円と定める。

令和8年2月20日 提出

旭市長 米本 弥一郎

令和 8 年 度

旭 市

水道事業会計予算に関する説明書

令和 8 年度 旭市水道事業会計予算実施計画  
収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入	項	目	予 定 額	備 考
1 水道事業収益			1,710,962	
	1 営業収益		1,411,474	
		1 給水収益	1,402,734	水道料金
		2 その他営業収益	8,740	消火栓維持管理負担金、手数料
	2 営業外収益		299,488	
		1 他会計補助金	80,000	一般会計補助金
		2 補助金	69,610	千葉県市町村水道総合対策事業補助金
		3 他会計負担金	1,080	一般会計負担金
		4 長期前受金戻入	48,868	減価償却に伴う長期前受金の戻入
		5 消費税及び地方消費税還付金	99,230	消費税及び地方消費税還付予定額
	6 雑収益	700	その他雑収益	

(単位：千円)

支 出	項	目	予 定 額	備 考
1 水道事業費用			1,474,511	
	1 営業費用		1,433,320	
		1 原水及び浄水費	853,984	受水に要する費用
		2 配水及び給水費	279,091	配水、給水設備等の維持管理に要する費用
		3 総係費	107,242	事業活動の全般に関連する費用
		4 減価償却費	190,165	固定資産減価償却費
		5 資産減耗費	2,838	固定資産除却費
	2 営業外費用		10,093	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費	10,092	企業債利息
		2 雑支出	1	その他雑支出
	3 特別損失		1,098	
		1 過年度損益修正損	1,098	不納欠損等
	4 予備費		30,000	
		1 予備費	30,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1	資本的収入		444,301	
	1	企業債	273,800	
		1 企業債	273,800	水道事業債
	2	出資金	81,300	
		1 出資金	81,300	一般会計出資金
	3	補助金	19,030	
		1 補助金	19,030	生活基盤施設耐震化等交付金
	4	負担金	44,228	
		1 負担金	44,228	消火栓設置負担金 配水管切廻し工事負担金
	5	給水申込金 納付金	25,943	
		1 給水申込金 納付金	25,943	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1	資本的支出		1,450,201	
	1	建設改良費	1,399,673	
		1 拡張工事費	18,778	仕切弁（不断水）設置工事等 旭市水道事業配水管布設費用補助金
		2 改良工事費	617,970	旭配水場ポンプ施設更新事業 場内配管工事 基幹管路布設替工事等
		3 固定資産取得費	762,925	旭配水場ポンプ施設更新事業 ポンプ棟建築工事等
	2	企業債償還金	28,847	
		1 企業債償還金	28,847	企業債償還元金
	3	その他 資本的支出	1,681	
		1 その他 資本的支出	1,681	国庫補助金消費税相当額返還等
	4	予備費	20,000	
		1 予備費	20,000	

令和8年度旭市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書(間接法)  
(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位：千円 税抜)

1	業務活動によるキャッシュフロー	
	当年度純利益	144,076
	減価償却費	190,165
	資産減耗費	2,838
	貸倒引当金の増減額	299
	賞与引当金の増減額	1,082
	長期前受金戻入額	△ 48,868
	支払利息	10,092
	未収金の増減額	△ 87,916
	未払金の増減額	476,527
	棚卸資産の増減額	△ 332
	小計	687,963
	利息の支払額	△ 10,092
	業務活動によるキャッシュフロー	677,871
2	投資活動によるキャッシュフロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 1,274,165
	国庫補助金による収入	19,030
	工事負担金による収入	44,228
	給水申込納付金	23,484
	投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,187,423
3	財務活動によるキャッシュフロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の収入	273,800
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 28,847
	出資金による収入	81,300
	国庫補助金消費税相当額返還による支出	△ 1,571
	財務活動によるキャッシュフロー	324,682
	資金の増加額	△ 184,870
	資金の期首残高	3,923,659
	資金の期末残高	3,738,789

## 給 与 費 明 細 書

### 1 総 括

(単位：千円)

区 分		職員数 (人)		給 与 費				法定福利費	合 計
		特別職	一般職	報 酬	給 料	職員手当等	計		
本 年 度	損益勘定 支弁職員	11	11	132	45,000	33,280	78,412	19,542	97,954
	資本勘定 支弁職員								
	合 計	11	11	132	45,000	33,280	78,412	19,542	97,954
前 年 度	損益勘定 支弁職員	11	11	198	44,200	30,100	74,498	18,672	93,170
	資本勘定 支弁職員								
	合 計	11	11	198	44,200	30,100	74,498	18,672	93,170
比 較	損益勘定 支弁職員			△ 66	800	3,180	3,914	870	4,784
	資本勘定 支弁職員							.	
合 計				△ 66	800	3,180	3,914	870	4,784

(単位：千円)

職員手当 等の内訳	区 分	扶養	地域	住居	通勤	特殊 勤務	時間外 勤務	宿日直
	本年度	2,440	1,940	1,680	780		4,030	
	前年度	2,150	910	1,360	780		3,500	
	比 較	290	1,030	320			530	

職員手当 等の内訳	区 分	管理職 特勤	休日 勤務	管理職	期末	勤勉	児童	夜間 勤務
	本年度		150	880	11,300	9,000	1,080	
	前年度		150	880	10,900	8,500	970	
	比 較				400	500	110	

## 2 給料及び職員手当等の状況

### (1) 職員1人当たり給与

区	分	企業職
令和8年1月1日現在	平均給料月額（円）	321,500
	平均給与月額（円）	367,557
	平均年齢（歳）	40.9
令和7年1月1日現在	平均給料月額（円）	318,645
	平均給与月額（円）	356,638
	平均年齢（歳）	40.2

### (2) 初任給

区	分	企業職（円）	一般会計の制度
			一般行政職（円）
高	校	卒	206,700
大	学	卒	237,600

### (3) 級別職員数

区	分	級	企業職	
			職員数（人）	構成比（%）
令和8年1月1日現在	1級	3	27.27	
	2級			
	3級	2	18.18	
	4級	4	36.37	
	5級	1	9.09	
	6級			
	7級	1	9.09	
	計	11	100.00	
令和7年1月1日現在	1級	3	27.27	
	2級			
	3級	2	18.18	
	4級	4	36.37	
	5級	1	9.09	
	6級			
	7級	1	9.09	
	計	11	100.00	

## (級別の基準となる職務)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級
企 業 職	主事 技師	主事 技師	副主査	主査	副主幹	副課長	課長

## (4) 期末手当・勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率計 (月分)	職制上の段階、職務 の級等による加算措置	備考
	6月(月分)	12月(月分)			
本 年 度	2.325	2.325	4.65	有	
前 年 度	2.300	2.300	4.60	有	
一般会計の制度	2.325	2.325	4.65	有	

## (5) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20年 勤続の者	25年 勤続の者	35年 勤続の者	最高限度	その他の加算措置等	備考
支 給 率 等	月分 24.586875	月分 33.27075	月分 47.709	月分 47.709	定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)	
一般会計の制度 (支給率等)	月分 24.586875	月分 33.27075	月分 47.709	月分 47.709	定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)	

## (6) 地域手当

支 給 対 象 地 域	旭 市 全 域
支 給 率 (%)	4
支 給 対 象 職 員 数 (人)	11
国の指定基準に基づく支給率 (%)	4

## (7) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同	
住 居 手 当	同	
通 勤 手 当	同	

継続費に関する調書

(単位：千円)

款	項	事業名	全体計画				前前年度末までの支払義務発生額 (令和6年度末まで)	前年度末までの支払義務発生額 (見込) 額 (令和7年度末まで)	当該年度支払義務発生予定額 (令和8年度)	当該年度末までの支払義務発生予定額 (令和8年度末まで)	翌年度以降の支払義務発生予定額 (令和9年度以降)	継続費の総額に対する進捗率	備考			
			年度	年割額	同左財源内訳											
					国・県補助金	企業債								その他		
1	資本的支出	1 建設改良費	旭・飯岡地域基幹管路耐震化事業	6	77,880	10,917	-	66,963	43,670	-	-	43,670	-	5.4%	繰越繰越 34,210	
				7	116,820	12,589	-	104,231	-	151,030	-	151,030	-	18.7%	繰越繰越 14,699	
				8	80,400	7,410	58,500	14,490	-	-	80,400	80,400	-	9.9%		
				9	120,600	8,040	-	112,560	-	-	-	-	120,600	-		
				10	70,800	4,720	-	66,080	-	-	-	-	70,800	-		
				11	106,200	7,080	-	99,120	-	-	-	-	106,200	-		
				12	94,400	6,290	-	88,110	-	-	-	-	94,400	-		
				13	141,600	9,440	-	132,160	-	-	-	-	141,600	-		
				計	808,700	66,486	58,500	683,714	43,670	151,030	80,400	275,100	533,600	34.0%		
	1	資本的支出	1 建設改良費	旭配水場ポンプ施設更新事業	8	918,390	3,870	154,000	760,520	-	-	136,390	136,390	-	3.4%	繰越繰越 782,000
					9	1,288,650	5,000	206,100	1,077,550	-	-	-	1,288,650	-		
					10	1,264,340	8,000	202,200	1,054,140	-	-	-	1,264,340	-		
					11	214,720	-	-	214,720	-	-	-	-	214,720	-	
					12	374,880	-	-	374,880	-	-	-	-	374,880	-	
					計	4,060,980	16,870	562,300	3,481,810	87,340	-	136,390	136,390	3,142,590	3.3%	

令和 8 年度 旭市水道事業予定貸借対照表

(令和 9 年 3 月 31 日)

資 産		の		部	
		千円	千円	千円	千円
固 定 資 産					
(1)	有 形 固 定 資 産				
	イ 土 地		93,497		
	ロ 建 物	549,841			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 93,942</u>	455,899		
	ハ 構 築 物	14,040,355			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 9,302,956</u>	4,737,399		
	ニ 機 械 及 び 装 置	1,378,539			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 754,473</u>	624,066		
	ホ 車 両 運 搬 具	11,910			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 11,060</u>	850		
	ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	4,602			
	減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 3,910</u>	692		
	ト 建 設 仮 勘 定		<u>58,222</u>		
	有 形 固 定 資 産 合 計			5,970,625	
(2)	無 形 固 定 資 産				
	イ その他無形固定資産		<u>157</u>		
	無 形 固 定 資 産 合 計			<u>157</u>	
	固 定 資 産 合 計				5,970,782
2 流 動 資 産					
(1)	現 金 預 金			3,738,789	
(2)	未 収 金		427,157		
	貸 倒 引 当 金		<u>△ 1,928</u>	425,229	
(3)	貯 蔵 品			<u>18,286</u>	
	流 動 資 産 合 計				<u>4,182,304</u>
	資 産 合 計				<u><u>10,153,086</u></u>

	債	の	部	
	千円	千円	千円	千円
3 固定負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債			856,525	
(2) 引当金				
イ 修繕引当金			<u>52,574</u>	
固定負債合計				909,099
4 流動負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債			29,157	
(2) 未払金			739,000	
(3) 引当金				
イ 賞与引当金			7,545	
(4) その他流動負債			<u>991</u>	
流動負債合計				776,693
5 繰延収益				
(1) 長期前受金			4,466,873	
(2) 収益化累計額			<u>△ 2,332,966</u>	
繰延収益合計				<u>2,133,907</u>
負債合計				<u>3,819,699</u>
資	本	の	部	
	千円	千円	千円	千円
6 資本金				4,941,508
7 剰余金				
(1) 資本剰余金				
イ 保険差益		123		
ロ その他資本剰余金		<u>12,858</u>		
資本剰余金合計			12,981	
(2) 利益剰余金				
イ 減債積立金		29,343		
ロ 建設改良積立金		1,176,632		
ハ 当年度未処分利益剰余金		<u>172,923</u>		
利益剰余金合計			<u>1,378,898</u>	
剰余金合計				<u>1,391,879</u>
資本合計				<u>6,333,387</u>
負債資本合計				<u>10,153,086</u>

# 令和7年度旭市水道事業予定損益計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

	千円	千円	千円
1	営業収益		
	(1) 給水収益	1,314,039	
	(2) その他営業収益	<u>8,517</u>	1,322,556
2	営業費用		
	(1) 原水及び浄水費	816,109	
	(2) 配水及び給水費	228,783	
	(3) 総係費	108,256	
	(4) 減価償却費	187,182	
	(5) 資産減耗費	<u>17,343</u>	<u>1,357,673</u>
	営業損失		35,117
3	営業外収益		
	(1) 他会計補助金	80,000	
	(2) 補助金	70,075	
	(3) 他会計負担金	720	
	(4) 長期前受金戻入	51,567	
	(5) 雑収益	<u>140</u>	202,502
4	営業外費用		
	(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	8,804	
	(2) 雑支出	<u>1</u>	<u>8,805</u>
	経常利益		158,580
5	特別損失		
	(1) 過年度損益修正損	<u>2</u>	<u>2</u>
	当年度純利益		158,578
	前年度繰越利益剰余金		0
	その他未処分利益剰余金変動額		<u>345,931</u>
	当年度未処分利益剰余金		<u><u>504,509</u></u>

令和7年度旭市水道事業予定貸借対照表

(令和8年3月31日)

資		産		の		部	
		千円		千円		千円	千円
固定資産							
(1)	有形固定資産						
	イ 土地			93,497			
	ロ 建物	153,841					
	減価償却累計額	<u>△ 91,785</u>		62,056			
	ハ 構築物	13,495,450					
	減価償却累計額	<u>△ 9,167,969</u>		4,327,481			
	ニ 機械及び装置	1,080,806					
	減価償却累計額	<u>△ 734,566</u>		346,240			
	ホ 車両運搬具	11,910					
	減価償却累計額	<u>△ 10,851</u>		1,059			
	ヘ 工具器具及び備品	4,602					
	減価償却累計額	<u>△ 3,694</u>		908			
	ト 建設仮勘定			<u>58,222</u>			
	有形固定資産合計					4,889,463	
(2)	無形固定資産						
	イ その他無形固定資産			<u>157</u>			
	無形固定資産合計					<u>157</u>	
	固定資産合計						4,889,620
2 流動資産							
(1)	現金預金					3,923,659	
(2)	未収金			339,241			
	貸倒引当金			<u>△ 1,629</u>		337,612	
(3)	貯蔵品					<u>17,954</u>	
	流動資産合計						<u>4,279,225</u>
	資産合計						<u><u>9,168,845</u></u>

		債 務 部		資 本 部	
		千円	千円	千円	千円
3	固 定 負 債				
(1)	企 業 債				
イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債			611,882	
(2)	引 当 金				
イ	修 繕 引 当 金			<u>52,574</u>	
	固 定 負 債 合 計				664,456
4	流 動 負 債				
(1)	企 業 債				
イ	建設改良費等の財源に 充てるための企業債			28,847	
(2)	未 払 金			262,472	
(3)	引 当 金				
イ	賞 与 引 当 金			6,463	
(4)	そ の 他 流 動 負 債			<u>992</u>	
	流 動 負 債 合 計				298,774
5	繰 延 収 益				
(1)	長 期 前 受 金			4,381,702	
(2)	収 益 化 累 計 額			<u>△ 2,284,098</u>	
	繰 延 収 益 合 計				<u>2,097,604</u>
	負 債 合 計				<u><u>3,060,834</u></u>
		本 部			
		千円	千円	千円	千円
6	資 本 金				4,514,276
7	剰 余 金				
(1)	資 本 剰 余 金				
イ	保 険 差 益		123		
ロ	そ の 他 資 本 剰 余 金		<u>12,859</u>		
	資 本 剰 余 金 合 計			12,982	
(2)	利 益 剰 余 金				
イ	減 債 積 立 金		29,012		
ロ	建 設 改 良 積 立 金		1,047,232		
ハ	当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金		<u>504,509</u>		
	利 益 剰 余 金 合 計			<u>1,580,753</u>	
	剰 余 金 合 計				<u>1,593,735</u>
	資 本 合 計				<u>6,108,011</u>
	負 債 資 本 合 計				<u><u>9,168,845</u></u>

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

イ たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産 定額法（ただし、水道事業の取替資産については取替法による。）

ロ 無形固定資産 定額法

(3) 引当金の計上基準

イ 退職給付引当金

本市は、退職手当組合に加入しており、水道事業会計は当該組合に掛金を拠出しているが、一般会計との取り決めにより、水道事業会計が負担金を拠出して以降の追加的負担は全額一般会計において措置することとなっているため、水道事業会計においては退職給付引当金を計上せず、拠出時に費用処理を行っている。

ロ 賞与引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及び手当の支給に伴い発生する法定福利費の支払に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、翌年度の支給見込額のうち当年度の負担に属する額を計上している。

ハ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

(4) その他会計に関する書類のための基本となる重要な事項

イ 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2 リース契約により使用する固定資産に関する注記

(1) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

未経過リース料相当額

1年内	10,819千円
1年超	7,158千円
計	17,977千円

所有権移転ファイナンス・リース取引で重要性の乏しいものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

### 3 その他の注記

#### (1) 引当金の取り崩し

##### イ 賞与引当金

当年度において、6月分期末手当、勤勉手当及び法定福利費を支給するため、賞与引当金6,463千円を取り崩す。

##### ロ 貸倒引当金

当年度において、債権の不納欠損に充当するため、貸倒引当金997千円を取り崩す。

##### ハ 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。